



〔対象〕
幼稚園
保育所
認定こども園

受付期間

2025年 2025年
8月1日(金)～9月2日(火)
15時 送信完了分まで

助成

最優秀園
300万円

全応募園に審査講評と
ソニー製品等を贈呈

実践対象

0歳～5歳児

審査の観点も対象年齢に
合わせ一部変更

2025年度 ソニー幼児教育支援プログラム

保育実践 論文募集

貴園の取り組みや子どもたちの生き生きとした姿を
論文にまとめて応募してみませんか

主題「科学する心を育てる」ために、日々の子どもの姿や記録をまとめた論文を
募集しています。応募いただいた全ての園に助成などの支援をしています。

論文テーマ
募集対象
募集内容

「科学する心を育てる」～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～
国・公・私立の幼稚園・保育所・認定こども園など全ての乳幼児施設
子どもたちの主体的な遊びや生活を大切に、「豊かな感性」と
「創造性の芽生え」を育むための保育実践とその考察に基づく
今後の方向性を募集します。

募集期間
応募方法
助成内容

2025年8月1日(金)～2025年9月2日(火) 15時 送信完了分まで
ソニー教育財団ウェブサイトの専用応募フォームから送信
〔最優秀園〕300万円とソニー製品等 〔優秀園〕50万円とソニー製品等
〔奨励園〕10万円とソニー製品等 〔保育みらい賞〕15万円とソニー製品等

発表
審査委員会

2026年1月中旬以降 当財団ウェブサイトにて発表予定
〔審査委員長〕 安井 正人 慶應義塾大学 教授
〔審査委員〕 秋田 喜代美 学習院大学 教授
50音順 安梅 勅江 筑波大学 教授
大豆生田 啓友 玉川大学 教授
河合 優子 聖徳大学 教授
島田 啓一郎 ソニーグループ株式会社 社員

募集内容

本紙裏面を
ご覧ください

主 題 内 容

「科学する心を育てる」～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～
子どもたちの主体的な遊びや生活を大切に、「豊かな感性」と「創造性の芽生え」を育むための保育実践とその考察に基づく今後の方向性を募集します。

必須項目

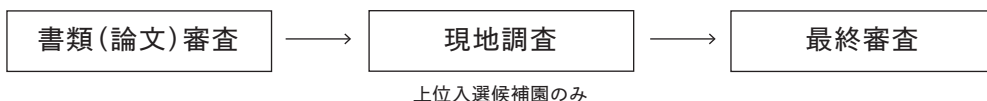
- ① 貴園が「科学する心を育てる」についてどのように捉えているか
主題「科学する心を育てる」についての考え方を明確にし、その考えと園の取り組みのテーマとの繋がりを記述（研究の目的や園の課題、掲載事例の選定理由などもお書きください）
- ② 具体的な子どもの姿に基づく実践の報告
子どもの言動、保育者の関わりや環境構成などから、遊びの状況や「科学する心」の育みが分かるように記述
- ③ 実践からの考察
上記の実践を、貴園が考える「科学する心を育てる」の視点から考察し記述
- ④ 考察に基づく課題と今後の方向性や計画

①～④を必ず記述してください（記述が無い場合は減点）

審 査

審 査

審査委員会による、書類（論文）審査・現地調査および最終審査を経て、入選園を決定します。



審査の観点

- ・貴園が考える「科学する心」についての捉えが明確に示され、園独自の「科学する心を育てる」保育の手立てが示されているか
- ・保育者の願いや思いが、子どもの主体性・感性・創造性の育ちをもとに考えられているか
- ・園の特徴を活かした独創性、提案性のある取り組みか
- ・実践の考察が「科学する心を育てる」や園独自のテーマに関連付いているか
- ・考察にもとづく今後の保育の方向性（計画）を具体的に示しているか
- ・子どもの育ちや発達の一貫性の流れの中で、保護者・地域との連携を活かした保育の工夫により、子どもたちの豊かな体験や持続可能な社会への取り組みにつなげているか

初応募園 今年度の実践に限らず、数年前の実践や今年度にいたる継続的な実践も対象。

連続応募園 前年度論文の課題や計画に対する取り組みや、内容の深まりも評価の対象。

審査委員会

審査委員長	安井 正人	慶應義塾大学 教授	
審査委員	秋田 喜代美	学習院大学 教授	安梅 勅江 筑波大学 教授
50音順	大豆生田 啓友	玉川大学 教授	河合 優子 聖徳大学 教授
	島田 啓一郎	ソニーグループ株式会社 社友	

ご応募いただく論文および関連情報について、以下の点をあらかじめご理解・ご了承の上、ご応募ください。

論文、園名、所在地、研究内容などの関連情報は、当財団が、成果の還元、普及や、広報活動のために使用、公開させていただきます。論文を本プログラム以外で使用、公開、出版、掲載等することを希望される場合には、事前に当財団にご連絡の上、許可を得ていただきます。応募情報（論文含む）は、当財団が、本プログラムに関する審査結果の通知、各種行事の案内、その他の連絡・確認のために使用させていただきます。ご応募いただく論文は、関連するすべての権利（本文および使用された写真等にかかる著作権、ならびに上記の当財団による使用等を許諾する権利を含むがこれに限らない）を、応募者が保有しているものに限り、ます。

助成内容

審査講評とソニー製品等を全応募園へ贈呈 /

最優秀園

教育助成金 **300万円**
ソニー製品等^{*1}

優秀園

教育助成金 **50万円**
ソニー製品等^{*1}

奨励園

教育助成金 **10万円**
ソニー製品等^{*2}

奨励園 保育みらい賞

奨励園のうち 個性的な取り組みには
保育みらい賞(+5万円)を贈呈

チャレンジ賞

ソニー製品等^{*3}

*1…4K液晶テレビ、ビデオカメラ、ワイヤレススピーカー等から1つ。 *2…ワイヤレススピーカー *3…ICレコーダー、ワイヤレスポータブルスピーカー等から1つ。(2024年度実績。2025年度は変更になる場合あり。)

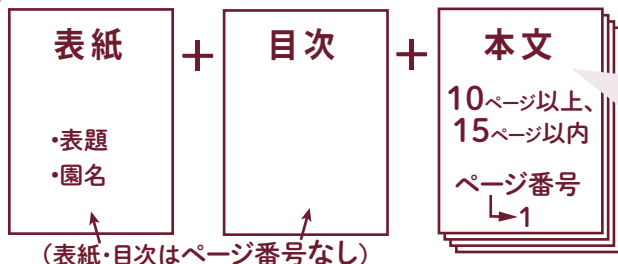
作成規定

- 過去の応募論文からの転載(文章・写真等)は、減点あるいは審査対象外です。転載が必要な場合は、本文中に論文応募時の年度を記載してください。
- すでに他で発表している論文と概ね同じ記述の論文は、審査対象外です。
- 論文以外の参考データ(動画等)は受け付けません。

論文は公開することがあるため、個人情報の取扱い、著作権侵害、捏造や改ざん、社会への影響など倫理面への配慮をお願いします。

「本文」について

A4 判、本文のみページ番号を付記



- 【ページ数】 10ページ以上、15ページ以内
- 【文字サイズ】 [本文] 10.5ポイント以上 [図表] 8ポイント以上
- 【ページ番号】 本文のみページ番号付記
- 【実践事例】 実践時期(年・月)と対象年齢を明記
- 【参考・引用文献】 本文中に明記
- 【研究代表者・全執筆者名】 最終ページに明記

募集要領

- 受付期間** | 2025年8月1日(金)～2025年9月2日(火) 15時 送信完了分まで
- 応募資格** | 国・公・私立の幼稚園・保育所・認定こども園など全ての乳幼児施設
- 0歳～5歳児の実践が対象
 - 年間を通じて週5日以上保育をしていること
 - 執筆者は所属園の保育者・職員であり、所属長の承諾を得ていること
 - 応募は1園および1執筆者から1件のみ(2024年度の最優秀園はご応募いただけません)
- 応募方法** | Web応募(詳細は本紙裏面に記載)
- 入選発表** | 2026年1月中旬以降 ソニー教育財団ウェブサイトにて発表予定
- 成果発表** | 「最優秀園」、「優秀園 審査委員特別賞」、「優秀園」には、以下の成果発表を行っていただきます。また、入選園には論文データの提供や事例紹介などにご協力いただくことがあります。
- | 発表対象 | 発表内容 |
|------------------------|---|
| 最優秀園および
優秀園 審査委員特別賞 | 論文の全文公開(写真を含む)
2026年度に「実践発表会」を開催(必須) |
| 優秀園 | 論文の全文公開(写真を含む) |
- ・発表会の開催には、当財団より助成金や開催支援を行います。

Web応募方法

締切は2025年9月2日(火)15時送信完了分まで /

登録方法が
変わります

ソニー教育財団の論文応募サイト(<https://www.sony-ef.or.jp/>)よりご応募ください。
ご応募にはログインアカウントの登録が必要です。

2025年8月1日
受付開始

応募の流れ

1 ログインアカウント登録

過去に登録がある方も
毎年登録が必要です

2

応募フォーム入力

入力項目が多数あります
所要時間目安：10分～30分

3

論文(PDF)送信

論文の送信完了は
メールでお知らせします

科学する心を育てる ～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～

主旨

子どもたちが自ら人や自然、もの、出来事と様々にかかわる暮らしの中で、豊かな感性が育まれ、主体的に遊ぶ楽しさ、学ぶ楽しさを味わう体験を通して創造性の芽生えが育まれる保育を実践する。

科学する心

- すごい!ふしぎ!と身の回りの出来事に驚き、感動し、想像する心
- 自然に親しみ、自然の不思議さや美しさに驚き、感動する心
- 動植物に親しみ、様々な命の大切さに気付き、命と共生し、人や自然を大切にする心
- 暮らしの中で人、もの、出来事と意欲的にかかわり、ものを大切にする心、感謝する心や思いやりの心
- 遊び、学び、共に生きる喜びを味わう心
- 好奇心や考える心、その心の動きから生まれる創造性や分かった時の喜びを味わう心
- 自分の思いや考えを表現し、考え・つくり出していく楽しさの体験や、やり遂げる心

みなさんは、子どもたちの「科学する心」をどのように捉え、どのように育てていますか？

2024年度 最優秀園

岐阜市立加納幼稚園（岐阜県）

学校法人岡崎学園

荒尾第一幼稚園（熊本県）



岐阜市立加納幼稚園



学校法人岡崎学園 荒尾第一幼稚園

優秀園 審査委員特別賞 社会福祉法人芽豆羅の里 幼保連携型認定こども園 めずらこども園(大分県)

全ての入選園は、当財団ウェブサイトに掲載しています。

ソニー教育財団について — 園・学校の先生を応援しています —

ソニー創業者 井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959年に学校への助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと広がりました。井深の志を受け継ぐ事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、65年以上続く論文事業の他、優れた教育・保育実践の公開や発信、未来志向の教員・保育者向け研修会、子どもに科学の原理を伝える「ものづくり教室」など、教育現場と未来を生きる子どもたちを支援するさまざまな活動を行っています。



公益財団法人 ソニー教育財団
Sony Education Foundation

〒140-0001
東京都品川区北品川4-2-1 御殿山アネックス2号館4F
Tel: 03-3442-1005

<https://www.sony-ef.or.jp/>

